

II 千葉第1キャンパス
1 年間の諸行事・諸活動

2007(平成19)年度 総合福祉学部 学年暦〔前学期〕

4月		5月		6月		7月		8月		9月	
1	日	1	火	1	金	1	日	1	水	1	土
		創立記念日振替休日		教育実習 I 教育実習 II		七夕祭り		授業予備期間(補講・集中) 福祉士・精保福祉士実習開始 ブラジル研修(9/10まで)			
2	月	2	水	2	土	2	月	2	木	2	日
	第43回入学式	海の日振替休日				孟蘭盆会(3、4時限休講)		(最終予定11月下旬)			
3	火	3	木	3	日	3	火	3	金	3	月
	学生証配布・教務オリエンテーション	祝日(憲法記念日)						追試験日程発表			
4	水	4	金	4	月	4	水	4	土	4	火
	新生セミナー(2年・3年次実習生健康診断) 履修相談	祝日(みどりの日)		II 保育実習							前学期成績発表
5	木	5	土	5	火	5	木	5	日	5	水
	(4年次就職健康診断)	祝日(こどもの日)		献血実施							
6	金	6	日	6	水	6	金	6	月	6	木
	1年次健康診断 学生厚生オリエンテーション							授業予備期間(補講・集中) 図書館夜間開館終了			再試験締切
7	土	7	月	7	木	7	土	7	火	7	金
		降誕会(1、2時限休講)						追試験期間			
8	日	8	火	8	金	8	日	8	水	8	土
											再試験日程発表
9	月	9	水	9	土	9	月	9	木	9	日
	授業開始 図書館夜間開館開始(8/6迄)										
10	火	10	木	10	日	10	火	10	金	10	月
	日本学生支援機構貸与奨学金説明会										
11	水	11	金	11	月	11	水	11	土	11	火
								前学期授業終了			再試験期間
12	木	12	土	12	火	12	木	12	日	12	水
	前期履修登録受付開始							天津大学夏季語学研修出発(9/10まで)			
13	金	13	日	13	水	13	金	13	月	13	木
14	土	14	月	14	木	14	土	14	火	14	金
											後学期授業開始 図書館夜間開館開始
15	日	15	火	15	金	15	日	15	水	15	土
16	月	16	水	16	土	16	月	16	木	16	日
						海の日(通常授業)					
17	火	17	木	17	日	17	火	17	金	17	月
											敬老の日(通常授業)
18	水	18	金	18	月	18	水	18	土	18	火
	履修登録締切	(卒論・論演・卒リポ 仮題目届提出締切)									
19	木	19	土	19	火	19	木	19	日	19	水
											後期履修登録受付開始
20	金	20	日	20	水	20	金	20	月	20	木
											4年生対象:卒業条件確認教務オリエンテーション
21	土	21	月	21	木	21	土	21	火	21	金
		教育実習 I									
22	日	22	火	22	金	22	日	22	水	22	土
		献血実施									
23	月	23	水	23	土	23	月	23	木	23	日
	創立記念日(通常授業)										祝日(秋分の日)
24	火	24	木	24	日	24	火	24	金	24	月
		教職員健康診断				前学期定期試験					秋分の日振替休日(通常授業)
25	水	25	金	25	月	25	水	25	土	25	火
											履修登録締切
26	木	26	土	26	火	26	木	26	日	26	水
		第4回スポーツ大会(授業は休講)									
27	金	27	日	27	水	27	金	27	月	27	木
								米国英語研修(9/15まで)			
28	土	28	月	28	木	28	土	28	火	28	金
		教育実習 II									
29	日	29	火	29	金	29	日	29	水	29	土
	祝日(昭和の日)										
30	月	30	水	30	土	30	月	30	木	30	日
	振替休日					前学期定期試験					
31	日	31	木	31	火	31	火	31	金	31	日
						授業予備期間(補講・集中)					

2007(平成19)年度 総合福祉学部 学年暦〔後学期〕

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1	月	1	木	1	土	1	火	1	金	1	土
2	火	2	金	2	日	2	水	2	土	2	日
3	水	3	土	3	月	3	木	3	日	3	月
4	木	4	日	4	火	4	金	4	月	4	火
5	金	5	月	5	水	5	土	5	火	5	水
6	土	6	火	6	木	6	日	6	水	6	木
7	日	7	水	7	金	7	月	7	木	7	金
8	月	8	木	8	土	8	火	8	金	8	土
9	火	9	金	9	日	9	水	9	土	9	日
10	水	10	土	10	月	10	木	10	日	10	月
11	木	11	日	11	火	11	金	11	月	11	火
12	金	12	月	12	水	12	土	12	火	12	水
13	土	13	火	13	木	13	日	13	水	13	木
14	日	14	水	14	金	14	月	14	木	14	金
15	月	15	木	15	土	15	火	15	金	15	土
16	火	16	金	16	日	16	水	16	土	16	日
17	水	17	土	17	月	17	木	17	日	17	月
18	木	18	日	18	火	18	金	18	月	18	火
19	金	19	月	19	水	19	土	19	火	19	水
20	土	20	火	20	木	20	日	20	水	20	木
21	日	21	水	21	金	21	月	21	木	21	金
22	月	22	木	22	土	22	火	22	金	22	土
23	火	23	金	23	日	23	水	23	土	23	日
24	水	24	土	24	月	24	木	24	日	24	月
25	木	25	日	25	火	25	金	25	月	25	火
26	金	26	月	26	水	26	土	26	火	26	水
27	土	27	火	27	木	27	日	27	水	27	木
28	日	28	水	28	金	28	月	28	木	28	金
29	月	29	木	29	土	29	火	29	金	29	土
30	火	30	金	30	日	30	水	30	日	30	日
31	水	31	月	31	月	31	木	31	日	31	月

2007(平成19)年度 大学院総合福祉研究科 学年暦 [前学期]

4月		5月		6月		7月		8月		9月	
1	日	1	火	1	金	1	日	1	水	1	土
2	月	2	水	2	土	2	月	2	木	2	日
3	火	3	木	3	日	3	火	3	金	3	月
4	水	4	金	4	月	4	水	4	土	4	火
5	木	5	土	5	火	5	木	5	日	5	水
6	金	6	日	6	水	6	金	6	月	6	木
7	土	7	月	7	木	7	土	7	火	7	金
8	日	8	火	8	金	8	日	8	水	8	土
9	月	9	水	9	土	9	月	9	木	9	日
10	火	10	木	10	日	10	火	10	金	10	月
11	水	11	金	11	月	11	水	11	土	11	火
12	木	12	土	12	火	12	木	12	日	12	水
13	金	13	日	13	水	13	金	13	月	13	木
14	土	14	月	14	木	14	土	14	火	14	金
15	日	15	火	15	金	15	日	15	水	15	土
16	月	16	水	16	土	16	月	16	木	16	日
17	火	17	木	17	日	17	火	17	金	17	月
18	水	18	金	18	月	18	水	18	土	18	火
19	木	19	土	19	火	19	木	19	日	19	水
20	金	20	日	20	水	20	金	20	月	20	木
21	土	21	月	21	木	21	土	21	火	21	金
22	日	22	火	22	金	22	日	22	水	22	土
23	月	23	水	23	土	23	月	23	木	23	日
24	火	24	木	24	日	24	火	24	金	24	月
25	水	25	金	25	月	25	水	25	土	25	火
26	木	26	土	26	火	26	木	26	日	26	水
27	金	27	日	27	水	27	金	27	月	27	木
28	土	28	月	28	木	28	土	28	火	28	金
29	日	29	火	29	金	29	日	29	水	29	土
30	月	30	水	30	土	30	月	30	木	30	日
31	火	31	木	31	火	31	火	31	金	31	火

2007(平成19)年度 大学院総合福祉研究科 学年暦 [後学期]

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1	月	1	木	1	土	1	火	1	金	1	土
2	火	2	金	2	日	2	水	2	土	2	日
3	水	3	土	3	月	3	木	3	日	3	月
4	木	4	日	4	火	4	金	4	月	4	火
5	金	5	月	5	水	5	土	5	火	5	水
6	土	6	火	6	木	6	日	6	水	6	木
7	日	7	水	7	金	7	月	7	木	7	金
8	月	8	木	8	土	8	火	8	金	8	土
9	火	9	金	9	日	9	水	9	土	9	日
10	水	10	土	10	月	10	木	10	日	10	月
11	木	11	日	11	火	11	金	11	月	11	火
12	金	12	月	12	水	12	土	12	火	12	水
13	土	13	火	13	木	13	日	13	水	13	木
14	日	14	水	14	金	14	月	14	木	14	金
15	月	15	木	15	土	15	火	15	金	15	土
16	火	16	金	16	日	16	水	16	土	16	日
17	水	17	土	17	月	17	木	17	日	17	月
18	木	18	日	18	火	18	金	18	月	18	火
19	金	19	月	19	水	19	土	19	火	19	水
20	土	20	火	20	木	20	日	20	水	20	木
21	日	21	水	21	金	21	月	21	木	21	金
22	月	22	木	22	土	22	火	22	金	22	土
23	火	23	金	23	日	23	水	23	土	23	日
24	水	24	土	24	月	24	木	24	日	24	月
25	木	25	日	25	火	25	金	25	月	25	火
26	金	26	月	26	水	26	土	26	火	26	水
27	土	27	火	27	木	27	日	27	水	27	木
28	日	28	水	28	金	28	月	28	木	28	金
29	月	29	木	29	土	29	火	29	金	29	土
30	火	30	金	30	日	30	水			30	日
31	水			31	月	31	木			31	月

2 教育事業

・コース制の導入

本学部は福祉社会の構築を目指し、平成 17 年度に学部名称の変更を行い、社会福祉を中心とした特色ある教育課程の編成に着手した。さらに平成 18 年度は、人材育成方針および教育課程の再編成を踏まえて、心理学科を実践心理学科へ、社会学科を人間社会学科へと名称変更を行った。これにより、社会福祉学科、実践心理学科、人間社会学科の 3 学科となった。

本年度は各学科にコース制を引くことで、入学時からの学習の目標を明確化し、さらに卒業後の進路へとわかりやすく示している。具体的には、社会福祉学科では「こども福祉」「社会福祉」「保健医療福祉」の 3 コースとなっている。実践心理学科は、「対人心理」「臨床心理」「こども心理」の 3 コースである。また、人間社会学科は「人間関係」「福祉マネジメント」「キャリア開発」の 3 コースである。

・新カリキュラムの実施

学部としての教育課程統一化を前面化し、共通科目の拡大、学科間の連携を重視した新カリキュラムが本年度よりスタートした。この新カリキュラムは、学生が理解・履修しやすい教育・履修体制の確立を目指し、履修方法、時間割、免許・資格の取得等に関して工夫と配慮をしたものとなっている。

その内容と構造に関しては、教養科目として建学の精神を活かした大学共通教養科目、基礎演習に加えて 2 年次での自由演習等による少人数教育を増加させた教養基礎科目、さらに教養科目、外国語科目を配置し、免許・資格だけに偏ることなく体系化し、充実させている。また、看護学部との連携を視野に入れ、合同で受講することによって両学部の学生に刺激となる工夫をしている。

専門科目については、各学科のコースごとに養成する人材像を明確にし、それぞれの教育目標にふさわしいものとし、出口としての卒業後の進路とつなげて考えられるような教育ができる仕組みとしている。具体的には、専門基礎科目で基礎となることを確実に学び、専門科目で発展させ、演習や実習科目で個々の課題、実学としての学びができる構造となっている。また、科目履修の選択肢を広げ、複数の免許・資格の取得を可能としているが、他方で無差別な免許・資格の取得には制限をかけている。

・卒業式表彰者

理事長賞

社会福祉学科 A 4 1 1 6 1 鈴木 麻衣子 (スズキ マイコ)

総代

社会学科 A 4 2 1 3 4 原田 尚 樹 (ハラダ ナオキ)

社会福祉学科 A 4 1 2 2 0 若林 さおり (ワカバヤシ サオリ)

心理学科 A 4 3 0 1 3 關 千賀子 (セキ チカコ)

編入生 A 4 1 8 0 3 岩崎 彩 (イワサキ アヤ)

長谷川研究奨励賞

社会学科 A 4 2 1 1 1 古川 順 (フルカワ ジュン)

社会福祉学科 A 4 1 0 8 0 鎌田 友梨恵 (カマダ ユリエ)

社会福祉学科 A 4 1 3 4 8 植木 里 美 (ウエキ サトミ)

心理学科 A43114 橋野 啓 (ハシノ ハジメ)
浄土門主賞
 社会学科 A42142 石井 翔 太 (イシイ ショウタ)
 社会福祉学科 A41109 篠塚 美沙樹 (シノヅカ ミサキ)
 心理学科 A43178 下坊 文 子 (シモボウ アヤコ)
 編入生 A41810 ニノ宮 寛子 (ニノミヤ ヒロコ)

全国保育士養成協議会長賞

社会福祉学科 A41701 池田 真 希 (イケダ マキ)

日本社会福祉士養成校協会会長賞

社会福祉学科 A41203 金森 光 輝 (カナモリ ミツテル)

特別賞

社会福祉学科 A41090 野澤 拓 哉 (ノザワ タクヤ)

・実習等実施状況

(人)

学部	実習科目	実習先	人数	備考
総合福祉学部	教育実習	中学校	60	
		高等学校	17	
		聾学校	1	
		特別支援学校	0	
	障害児教育実習	特別支援学校	47	
	社会教育実習	全国の少年自然の家等	37	
計			162	

・資格取得等状況

1. 国家資格の取得状況

(人)

	17年度	18年度	19年度	備考
1. 社会福祉士試験合格者	71	82	95	
2. 精神保健福祉士試験合格者	9	8	8	
3. 保育士資格取得者	71	75	71	

2. 資格取得支援講座等実施状況

(人)

講座名	受講者	受験者	合格者	合格率%	備考
1. ホームヘルパー2級資格取得講座	135	135	133	98.5	
2. 秘書検定準1・2級受検講座	22	準1級10	6	60.0	
		2級 21	18	85.7	
3. 医療事務講座	29	29	24	82.3	
4. 資格取得パソコン講座	55	55	55	100.0	マイクロソフト・スペシャリスト
5. 社会福祉士試験対策講座	140	※205	95	46.3	

※講座未受講者を含む

・卒業生の進路状況

1. 総合福祉学部

平成19年度における卒業生数734名、このうち就職希望者数は605名、就職内定者数は582名であり就職率は96.2%となった。一方、就職内定者以外では大学院進学12名、その他の進学26名、卒業後も就職活動継続が23名、次年度公務員・大学院など再受験のための浪人は21名、就職意思無し・進路不明が70名であった。

総合福祉(社会)学部卒業生の進路状況 平成20年3月卒業 (人)

項目 / 学科	社会福祉学科		心理学科		社会学科		学部計		
		増減		増減		増減		増減	
①卒業生	414	10	173	4	147	2	734	16	
②就職希望者	369	31	124	5	112	△6	605	30	
就職希望比率②/①%	89.1%	5.4%	71.7%	1.3%	76.2%	△5.2%	82.4%	2.3%	
内 訳	③就職内定者	361	29	114	1	107	△3	582	27
	(③/①)%	87.2%	5.0%	65.9%	△1.0%	72.8%	△3.1%	79.3%	2.0%
	(③/②)%	97.8%	△0.4%	91.9%	△3.1%	95.5%	2.3%	96.2%	△0.3%
	④就職活動継続者	8	2	10	4	5	△3	23	3
⑤就職を希望しない	16	△8	32	13	11	0	59	5	
内 訳	大学院進学	0	△2	11	2	1	△1	12	△1
	その他の進学	10	4	10	4	6	4	26	12
	進学再受験	2	1	5	3	1	0	8	4
	その他	4	△11	6	4	3	△3	13	△10
⑥就職の意思無し	23	△19	12	△7	21	13	56	△13	
⑦不明	6	6	5	△7	3	△5	14	△6	

2. 総合福祉研究科

平成19年度修了の大学院生は31名、うち就職決定者(正職)は11名(内訳:企業2名・福祉医療関連6名・教員2名・公務員1名)、一時的な仕事に就いた者は16名、進学は1名、その他3名であった。

3. 教員・公務員試験合格者数 総合福祉学部 (人)

	17年度	18年度	19年度	備考
1. 教員採用試験	33 (17)	37 (14)	44 (20)	臨時採用含む・()既卒
2. 公務員試験	20	21		

4. 卒業生の就職先

公務員・教員

県立安房特別支援学校、県立市川特別支援学校、県立夷隅特別支援学校、県立柏特別支援

学校、県立富里市特別支援学校、県立仁戸名特別支援学校、県立船橋特別支援学校、県立松戸特別支援学校、千葉県立聾学校埼玉県立春日部養護学校、埼玉県立越谷養護学校私立旭出学園養護学校、大多喜町行政職、君津市図書館司書、東京都行政職、東京都教育補助員、千葉市行政職、八千代市役所、四街道市行政職、旭市福祉職、大田区福祉職、松戸市福祉職、荒川区福祉職、市原市福祉職、勝浦市福祉職、川口市福祉職、君津市福祉職、千葉市福祉職、松戸市福祉職、自衛隊、皇宮自衛官、千葉県警察、埼玉県立川口養護学校介助員、船橋市放課後ルーム指導員、足立子ども家庭センター、千葉県中央児童相談所

社会福祉分野

■保健医療機関

(医) 葵会、(財) 太田総合病院、(医) 上総会、(医) 柏水会、(医) 菊田会、(医) 康麗会、(医) 恒久会、(医) 三思会、(医) 三矢会、総合病院国保旭中央病院、(医) 誠馨会、(医) 東京勤労者医療会、(医) 龍岡会、(財) 竹田総合病院浜松医科大学付属病院、国立病院機構 千葉東病院、(医) 博美会、(医) 福生会、(財) 復光会、べっく・メディカル・クリニック、文教町クリニック、(医) 鳳生会、(医) 邦清会、(医) 緑栄会

■成人福祉施設

(福) 一路会、(福) 大久保学園、(福) オリーブの樹、(福) 輝王会、(福) 三和会、(福) 試行会、(福) 紫峰会、(福) 翠昂会、(福) すぎのこ会、(福) 大成会、(福) たかはら学園、(福) 千葉県福祉援護会、(福) 原町成年寮、(福) ふるさと学舎、(福) 宝樹、(福) ゆめ工房福祉会

■ 老人福祉施設

あすみが丘グリーンヒルズ、(福) 池上長寿園、(福) 勝曼会、(福) 近代老人福祉協会、(福) けやき会、(福) 健恒会、(福) 郡山福祉会、(福) さざんか会、(福) 賛育会、(福) 淑徳福祉会、(福) すはま会、(福) 清常会、(福) 慈心会、(福) 豊裕会、(福) 長寿の里、(福) 東京聖労院、(福) ときわ会、(福) 殿山福祉会、(福) 日新会、(福) のぞみ会、(福) 吹上苑、(財) 松戸市生きがい福祉事業団、(福) 友和会、(福) ほたか会、(福) 八千代美香会、(福) 旭悠会、(福) 奴奈川福祉会、(福) 四葉晃耀会、社団法人 全国社会保険協会連合会 (サンビューちば)

■複合施設団体

湖山医療福祉グループ、上尾中央医科グループ、(福) 至誠学園立川、(福) 章佑会、(福) 聖隷福祉事業団、(福) 千葉ベタニヤホーム、千葉県社会福祉協議会、(福) 横浜社会事業協会、(福) 東京都社会福祉事業団、(福) 埼玉県社会福祉事業団、(福) 南東北福祉時牛緒団 (福) 山梨県社会福祉事業団、(福) 芳香会、NPO ワーカーズコープ

■児童福祉施設

(福) あげぼの会、(学) 旭鈴木学園、(福) 愛隣会、(福) 杏の会、(財) 今井保育園、(福) 大原福祉会、(福) 小川会、女塚保育園、(福) 共励福祉会、(福) 木更津大正会、(福) 菊光会、(福) きばらの樹、こばと治療教育センター、さいたま市立奈良保育園、(福) 栄幸会、(福) 獅子吼苑、(福) しらさぎ会、(福) 大成会、(財) 千葉県国際文化教育財団ベレサール、(福) チルドレン・パラダイス、(福) 九十九会 (福) 天佑会、(福) 東京児童協会、(福) 成田山福祉財団成田学園、(福) 南生会、(福) のゆりの会、(福) 房総双葉学園、(福) 恵福祉会、NPO にじと風福祉会

企業分野

■福祉・医療関係企業

(株)明昭、(株)あかりの里、アースサポート(株)、アビリティーズケアネット(株)、扇屋旅館デザインサービス、オリックスリビング(株)、ケアサービス(株)、スターツケアサービス(株)、(株)センチュリーライフ、セントスタッフ(株)、(株)タカサ、(株)ニチイ学館、日本医療事務センター(株)、(株)日本デイケアセンター、(株)日本保育サービス、日本メガケア(株)、(株)ハートウェル、(有)ピウ、(株)プロケア、ベネッセスタイルケア(株)、(株)ヤマシタコーポレーション、ヤマトメディカル(株)、(株)ライフアシスト、(株)ライフコミュニケーション、ライフサポート(株)、(株)リエイ

■建設・不動産・製造・電力・運輸

(株)殖産住宅、大成ロテック(株)、竹村電器工事(株)、(株)アービック、朝日リビング(株)、(株)サンステップ、新昭和(株)、(株)真和エンタープライズ、大和リビング、千葉総業(株)、(株)東亜住建、(株)日神不動産、日本ハウズイング(株)、ポラス(株)、(株)ミニミニ、(株)明和住販流通センター、(株)リビングライフ、(株)レオパレス21、中本パックス(株)、大正製薬(株)、瀧川化学工業(株)、(株)テクノス、アイ エム エス(株)、クリーンテクノロジー(株)、松下電工(株)、ホットマン(株)、岡田産業(株)、(株)テツゲン、(株)フジキン、(株)ウイル・コーポレーション、(株)丸ノ内工芸東京急行電鉄(株)、東京ベイシティ交通(株)、(株)バンダイロジパル

■金融・保険

(株)かんぼ生命保険、第一生命保険(相)、日本興亜損害保険(株)、日本生命保険(相)、富国生命保険(相)、亀有信用金庫、北群馬信用金庫、君津信用組合、芝信用金庫、東京信用金庫、東京シティ信用金庫、東京東信用金庫、アコム(株)、(株)ウイルコーポレーション、さくらカード(株)、トヨタファイナンス(株)、(株)千葉銀行、(株)京葉銀行、(株)東日本銀行、(株)三井住友銀行、(株)三菱東京UFJ銀行、岡地(株)、ユニコムグループホールディングス(株)

■卸・小売

イーストエレクトロニクス(株)、田中電気(株)、福井電機(株)、(株)関東日本フード(株)、利根コココーラ・ボトリング(株)、日本ペプシコーラ販売(株)、旭洋パルプ(株)、ホットマン(株)、タイヘイ(株)、渡辺パイプ(株)、(株)セキヅカ商事、(株)ファンケル、かたばみ興業(株)、(株)カネキカナカオ、(株)タカシマ、(株)東京鋳兼、稲垣機材(株)、(株)金子機材、渡辺パイプ(株)、(株)エスシー、(株)オーエーシステムサービス、(株)大塚商会、ステラグループ(株)、(株)成田デンタル、大木自動車(株)、(株)オートウェーブ、協和自動車(株)、(株)スズキ自販京葉、ダイハツ千葉販売(株)、千葉スバル自動車(株)、千葉トヨペット(株)、千葉日産自動車(株)、トヨタカローラ千葉(株)、ネットトヨタ千葉(株)、ヨコハマタイヤ東京販売(株)、イオン(株)、(株)カワチ薬品、(株)クスリのカツマタ、(株)ケーヨー、(株)コメリ、(株)JR 東日本リテールネット、(株)島忠、(株)スギ薬局、(株)デイリーヤマザキ、(株)ドン・キホーテ、(株)ベイシア、(株)マイカル、(株)ミスターマックス、(株)ヤオコー、(株)ヨークマート、(株)ライフコーポレーション、青山商事(株)、(株)赤ちゃん本舗、(株)アズノウアズ、(株)アバハウスインターナショナル、(株)オンワード樫山、(株)クロスカンパニー、(株)コナカ、(株)コンプレックス・ビズ・インターナショナル、(株)サマンサモスモス、(株)シンシア、(株)チヨダ、(株)ニ科尔、(株)ヌーヴ・エイ、(株)ハニーズ、(株)ピーアンドエム、(株)卑弥呼、(株)ファイブフォックス、(株)フランドル、(株)ブルーグラス、(株)ポイント、(株)ライトオン、(株)ユナイテッドアローズ、(株)ワールドストアパートナーズ、(株)一富士フードサービス、ジェイアール東日本フードビジネス(株)、(株)叙々苑、(株)スカイラーク、日本ケンタッキーフ

ライドチキン(株)、(株)フライングガーデン、(株)和民、(株)ゲオ、(株)サンセットコーポレーション、ブックオフコーポレーション(株)、(株)有隣堂、(株)ツルヤ、(株)まつおか、米屋(株)、(株)エディオン、(株)キタムラ、(株)ケーヨー、(株)ビックカメラ、富士ゼロックス東京(株)、(株)ベイシア電器、(株)ヤマダ電機、(株)ヨドバシカメラ、(株)アーバン、(株)アイ・トピア、(株)銀座メガネ、(株)ツツミ、(株)三貴、(株)メガネスーパー、(株)メガネフラワー、アルファインターナショナル(株)、(株)大塚家具、(株)さくらほりきり、(株)大創産業、(株)W・I システム、(株)トレジャーファクトリー、(株)はせがわ、(株)マーム、(株)ロフト

■マスコミ・サービス・その他

(株)アフロディーテ、(株)GAIN、(株)総合企画、(株)地域新聞社、中央出版(株)、(株)アートフリーク、(株)朝日広告、(株)アクトFROMエー、ソフトバンクモバイル(株)、近畿日本ツーリスト(株)、(株)コスモエージェンシー、AF マネジメント(株)、キャプラン(株)、セントスタッフ(株)、(株)チェッカーサポート、(株)テクノサービス、日本マルコ(株)、パソナユース(株)、(株)バックスグループ、ヒューマンステージ(株)、(株)ベイカレント・コンサルティング、(株)アイルネット、医療システムズ(株)、エーアンドアイ(株)、(株)エスアイシー、(株)SFCG、(株)エデルタ、(株)エフティコミュニケーションズ、(株)N I D・I S、エム・シー・エス(株)、(株)エム・ワイ・ケー、(株)クロスキャット、CLINKS(株)、(株)ケイ・シー・ティ、(株)コンピューターマインド社、システムデザイン(株)、(株)ソピア、(株)第一情報システムズ、ちばぎんコンピュータサービス(株)、東京コンピュータサービス(株)、東京ソフトウエア(株)、トランスコスモス(株)、ハイパーコンセプト(株)、フィット産業(株)、富士ソフト DIS(株)、富士テレコム(株)、UNIADDEX(株)、イドムコーポレーション(株)、HLS(株)、(株)筑波進研、(株)ファニーワーク、(株)明光ネットワークジャパン、(株)アクア・グラツィエ、アドアーズ(株)、(株)エヌズ、(株)埼玉冠婚葬祭センター、(株)サンザ、(株)サンシャインエンタプライズ、(株)サンセルモ、(株)トムスエンターテイメント、(株)日拓、(株)パラッツオ、ピーアークホールディングス(株)、(株)ビーコム、(株)ルネサンス、東京オートリース(株)、七草の湯、東京全日空ホテル、旅館たにがわ、日本ビューホテル(株)、(株)プリンスホテル、(株)吉田屋 鴨川館、(株)OH庭YA、(株)コイデカメラ、(株)シェイプアップハウス、(株)スタジオアリス、総合常駐警備(株)、セコム(株)、TBC グループ(株)、(株)プランニングネットワーク、三井物産ビジネスサポート(株)、(株)四五コーポレーション、郵便局(株)

団体・組合・教育機関等

山武郡農業協同組合、生活協同組合ちばコープ、土浦農業協同組合、東京都電機健康保険組合、富士茶農業協同組合、千葉県少年自然の家

3 研究活動

・総合福祉学部で開催された学会等

1. 日本社会福祉士養成校協会関東甲信越ブロック 第3回社会福祉士実習教育推進大会
平成19年12月1日
2. 淑徳大学社会福祉学会 第17回大会 平成19年6月23日

・科学研究費補助金等の受給状況

平成19年度日本学術振興会科学研究費補助金

(単位千円)

研究種目	研究者	区分 継続	課 題 内 容	平成 19 年 直接経費 ／間接経費
1. 基盤研究 C	金 沢 創	継続	錯視図形を用いた乳児の視覚発達に関する実験心理学的研究	1,100 ／330
2. 基盤研究 C	松 田 苑子	新規	水田稲作における労働と意識－生活時間長期時系列分析をとおして－	1,200 ／360
3. 若手研究 B	青 柳 涼子	新規	結婚と夫婦関係の変容過程－1950 年代の夫婦調査結果の分析をとおして－	500

・学位の取得状況（平成 17～19 年度）

2005(平成 17)年度

該当者なし

2006(平成 18)年度

山下 幸子 総合福祉学部講師	2007年3月	大阪府立大学	博士（社会福祉学）	障害者運動にみる障害者と介助者との関係性
-------------------	---------	--------	-----------	----------------------

2007(平成 19)年度

該当者なし

・平成 19 年度 「大乘淑徳学園スポーツ・文化研究奨励賞」 受賞者

授与式： 大乘淑徳学園平成 20 年度賀詞交歓会 平成 20 年 1 月 5 日(土)

【教職員特別奨励賞】

奨励賞

部門名	サークル名・個人名	功 績	
大学（千葉）	たたらとしお 多々良 紀夫	H19.6	WHO 国際ロザリー・ウルフ賞 受賞

4 社会貢献活動

・ニュートライアングルプロジェクトの取組

昨年より計画された本プロジェクトにおいては、①保健・福祉プログラムを中心とした総合的な地域支援プログラム（地域支援）②大学の教育力（学生への実学的教育支援力）の開発・強化プログラム（教育）③総合福祉学部・看護学部・淑徳共生苑の共同研究プログラム（研究）を検討し、まず本年度は地域支援プログラムを実行した。

その具体的な取組として千葉市と本学とが共同研究事業(千葉市・大学等共同事業)として2つの共同研究を行った。その一つが、「大規模団地における高齢化に対応した福祉サー

ビスのあり方について」(研究代表者: 本学教授下山昭夫)である。この研究では大規模団地における住民、とりわけ高齢層が安全・安心で快適な、そしてより自立的な日常生活を過ごすための諸条件を明らかにし、千葉市の高齢化対策の策定のための基礎資料の収集を目的としている。また、併せて試論的な「高齢化する大規模団地における高齢者への各種の支援策」のポイントを抽出することに結び付けている。

他の一つが、「ごみ減量を促進するPR戦略等に関する研究」(研究代表者: 本学教授松菌祐子)である。この研究は、市民等のごみ分別・資源化に関する意識を改革し、実践行動を一層促進していくために、各種啓発事業等を体系化して戦略としてまとめること、事業実施にあたっては広報手法等を応用し、その効果をさらに高めていくことが必要と考えられることから取り組んだものである。また、現在進められている千葉市の新一般廃棄物(ごみ)処理基本計画を実現していくために役立つものである。

・学び体験フェア「マナビゲート」2007へ出展

東京国際フォーラムを会場として8月18～19日の2日間行われた「マナビゲート」に、昨年引き続き本学部と看護学部が共同で出展した。NPO法人学びの支援コンソーシアムによって主催されているもので、「大学別学びの支援ブース」にく「フクシ」を体験しよう!>というブースを開設し、両学部の学生が中心となって点字、看護体験などを訪れる子どもたちが体験的に学べるような試みとして行った。

・公開講座

本学部独自の公開講座は、研究公開委員会の所掌のもと、千葉市教育委員会の助成を得て、原則、秋季に共通テーマのもと全5回の講座がなされている。公開講座には、本学部における研究・教育活動の成果を社会および地域に還元するという意味もあり、講師は本学教員を中心に協力を仰いで実施している。また、講座の充実を図るため外部講師も招聘している。

平成19年度の公開講座の共通テーマは「いま、“老い”と向き合う～医療・看護・福祉現場からの緊急提言～」とし、この問題に、医療・看護・福祉・地域など高齢者を支える現場の実践や知見をもとに医療や看護の現場からの経験や知見を通じた発信、上手な老い方、福祉サービスの活用方法、地域の福祉ネットワークのあり方など、高齢者からそのご家族まで幅広い方々が、よりよい「老い」を迎えるためのヒントやあり方を考えることをねらいとした。

淑徳大学教授渡邊弘美の講演を皮切りに、高齢者からそのご家族まで幅広い方々が、よりよい「老い」を迎えるためのヒントやあり方について、本学部教員ほかが講演した。受講者数は延べ395名であった。

- 第1回 10月13日(土)「医療の現場から」 渡邊 弘美(淑徳大学教授)
第2回 10月20日(土)「在宅看護の現場から」 足立 紀子(淑徳大学教授)
第3回 10月27日(土)「高齢者のスキンケア」 北山 幸枝(淑徳大学准教授)
第4回 11月 3日(土) ①「上手な老い方と福祉サービス活用方法」
林 房吉(特別養護老人ホーム淑徳共生苑施設長)
②「地区部会活動から考える地域福祉」
武井 雅光(千葉市社会福祉協議会白旗台地区部会長)
第5回 11月17日(土)「いかに生きるか」 木村 登紀子(淑徳大学教授)

実施会場：淑徳大学 千葉キャンパス 12号館 101教室

開催時間：午後1時30分から午後3時30分

対象者：千葉市民（千葉市在住・在勤）

参加費：無料

・社会福祉研究所：発達臨床研究センター

1. 障害児に対する地域支援活動

昭和40年の開学以来、地域支援としての発達障害幼児の療育活動を、感覚と運動の高次化アプローチによって展開してきた。ねたきりの最重度の障害児から、アスペルガー、LD、ADHDといった高機能の子どもたちまで、障害の種別を問わず発達支援が行われている。これまでの受け入れ児童数は700名を超えている。スタッフは臨床心理士ならびに臨床発達心理士によって構成されている。

療育方法は、緻密な発達評価のもとで個々の支援プログラムを開発することに重点がおかれている。実際には、2000点を超す独自の認知・言語教材を用いた個別指導と、音楽・運動・コミュニケーションにねらいを置いた集団療法が実施されている。平成18年度は千葉市内を中心に、24名の発達障害幼児に対して、週二回の継続的な発達支援が行われた。

2. 学部ならびに院生の臨床実習生の受け入れ

学部社会福祉学科、心理学科の3年・4年次学生40名を対象に、障害児初級・上級臨床実習が行われた。また大学院心理学専攻修士課程、社会福祉専攻博士後期課程の院生8名を対象に、発達臨床心理実習が行われた。いずれの実習も、毎週特定の子どもを担当して、直接発達支援にかかわり、並行してケースカンファレンスやスーパービジョンを受けながら、発達アセスメントや支援仮説の検討を行っている。

3. 発達臨床研修セミナーの開催

8月3日と4日の二日間にわたり、第32回発達臨床研修セミナーが「トータルな発達臨床をめざして」というテーマで開催された。全国から337名の教育系、福祉系職員が参加した。セミナーの内容は以下の通りである。

講演1 中邑賢龍；障害児のコミュニケーション支援—AACの活用—

講演2 川間健之介；障害に応じた発達支援—姿勢・運動・認知のつながり—

講演3 宇佐川浩；トータルな発達臨床とは何か—飛び越えやつまずきの発達の意味
考える

事例研究1 石井美香；中学部での日常生活および教科における発達を捉えた個別指導

事例研究2 奥村由香；交通事故の頭部外傷により重度のコミュニケーション障害を有する患者に対するリハビリとしての音楽療法

事例研究3 関口薫；高機能広汎性発達障害児の行動調整と自我の発達

4. 研究紀要の発刊

発達臨床研究25巻が刊行され、論文5編、その他1編が掲載された。

・社会福祉研究所：総合福祉研究室

1. 調査研究成果の報告

平成19年度より、三ヵ年計画による新たな共同研究プロジェクトがはじまっている。テーマは「ソーシャルワークと経営統合—日米における理論と実践の比較研究」であり、国内、国外の大学に対して、関連する情報収集を行った。

2. 社会福祉研究所セミナーの開催

第11回社会福祉研究所セミナーは、7月22日(日)に千葉市市民会館にて開催された。講師は、桂才賀師匠で、「子どもを叱れない大人たちへ」というテーマで講演していただいた。参加者は194名であった。

3. 研究紀要の発刊

総合福祉研究12号が刊行され、論文3編、研究ノート2編、その他1編が掲載された。

・総合福祉研究科 附属心理臨床センター

事業内容

平成15年4月に「淑徳大学大学院社会学研究科(現・総合福祉研究科)附属心理臨床センター」が大学院の臨床心理士養成校として設置が義務づけられていることにより開設され、平成17年度から相談事業に加えて支援事業を本格的にスタートさせた。相談事業は相談件数が増え学生の臨床実習の勉強になった。また支援事業も4つのおおきな事業がより充実し受講者のニーズにあった有意義なものとなった。

1. 相談事業

心理的な援助を必要としている人を対象に、臨床心理相談・治療を行うとともに、臨床心理士を目指す学生の臨床実習の場でもある。平成19年度相談事業の実績は、個別相談、延べ187件、家族相談、延べ207件、心理査定、延べ80件、相談コンサルテーション、延べ5件の合計479件である。件数は前年度比1.26倍の増加を示した。特に家族の相談件数は前年度より大幅の伸びであった。来談者と利用件数の増加によってカウンセリング施設としての運営が軌道にのってきていることの表れであり、開所5年目を迎え、センターの存在の認知度が高まってきていると思われる。

2. 支援事業

平成19年度は、「子育て支援事業」「地域支援事業」「教育支援事業」「高齢者支援事業」を運営委員会が企画し、教育活動としての目的から準備・進行は学生があたった。これに加えて、「臨床心理士資格審査受験対策講座」「ロールシャッハ講座」など臨床心理士養成機関として臨床心理士輩出のための支援講座も実施した。

(1) 子育て支援事業

本年度は子育て支援事業として年3回の講座を実施し、特に子育ての専門家を対象とした講座への要望が高いことから現場のニーズにあったテーマによる「専門家のための子育て支援講座」を2回実施した。また「子育て相談会」は専門家が子育ての悩みにこたえていくQ&Aの形式で行ったところ、参加者が事前に質問を、用意してくるなど主体的な参加がみえた。

第1回子育て支援講座(6月30日)のテーマは「子供のことばでない心のメッセージ、身体のサインーを読み取る」で、講師は本学教授 金子 保氏、松田 博雄氏に講演いただいた。講演は72名の参加者であった。講師と気軽に会話をかわせる懇談会には12名参加し、活発な意見が交わされた。第2回専門家のための子育て支援講座(12月8日)は、テーマ「対応困難な保護者への支援」と題して、渡辺久子氏に「親が心の病をもつ子どもの保育と親への支援のあり方」について講演していただいた。118名とたくさんの参加を頂き「対応困難な保護者への支援」に関する問題が深刻である実態がわかり、機を得たテーマであった。第3回 専門家のための子育て支援講座(1月26日)は、川井 尚氏に「母

と子の心理臨床の基本」をご講演頂き、参加者 37 名であった。2 年目になる子育て相談会は、共催の慈光保育園「このはなクラブ（大巖寺文化苑子育て支援サークル）」に発達心理学が専門の本学専任教員を講師として派遣して「子育てについての Q & A」を行い、参加者は 35 名であった。

(2) 地域支援事業

平成 19 年度は“新生淑徳”としての淑徳大学をご理解いただくための企画で実施し、特別養護老人ホーム「淑徳共生苑」を会場に、看護学部長渡邊弘美先生による「老いるということ、老いを防ぐためにー医学の立場からー」の講演会を開催し、91 名の参加があった。淑徳共生苑の見学会には、57 名が参加した。「共生苑おゆみホール」を会場に開催された交流会では、長谷川学長に御臨席頂き、和やかながら活発な会であった。

(3) 教育支援事業

平成 19 年度も千葉市教育委員会の後援を得て、教育現場で役立つ専門的知識と具体的方策を提供することを目的にした。本年度は 7 月 26 日に「教育現場にみるアスペルガー障害」をテーマに、本学教授 小川 恵氏に講演していただいた。講演会は参加者 98 名であった。ワークショップは、テーマ「教師が学ぶアスペルガー障害児のソーシャルスキル能力の向上」と題して本学准教授 桜井 美加氏に担当して頂き、参加者は 22 名であった。

(4) 高齢者支援事業

高齢者支援事業は、学内講座と公開講座を本年度も行った。「学内講座」では、本学の臨床心理士養成の一環として高齢者支援のためのリテラシーを高める目的で、在学生を対象とした「回想法ワークショップ」実施した。また「公開講座」は、日本の「回想法」の第一人者である東洋大学教授 野村豊子氏を講師に招き、池袋サテライト・キャンパスを会場に開催した。講演会は 74 名、ワークショップ 39 名の参加があった。

(5) その他の支援事業

臨床心理士養成機関として貢献するための支援事業として、本学修了生の資格取得を支援すると同時に他大学の学生にも支援することを目的に、「臨床心理士資格審査受験対策講座」と「ロールシャッハ講座」を公開講座として開催した。「臨床心理士資格審査受験対策講座」は、池袋サテライト・キャンパスを会場に 4 日間の有料講座として実施し、『基礎と過去問題解説』の 1, 2, 3 講は参加人数 53 名、直前講座は 33 名の参加があった。

「ロールシャッハ講座」は、臨床心理士資格審査受験対策として授業を補足することを目的に有料の公開講座として 2 コースを実施した。参加者はエクスナー法コースが 23 名、片口法コースが 13 名の参加者であった。

5 学生の活動

・平成 19 年度 「大乘淑徳学園スポーツ・文化研究奨励賞」 受賞者

授与式 : 大乘淑徳学園平成 20 年度賀詞交歓会 平成 20 年 1 月 5 日(土)

【スポーツ部門】

最優秀奨励賞

部門名	サークル名・ 個人名	学年	功 績		
大学（千葉）	のざわ たくや 野澤 拓哉	4	H19.4	2007年 内閣総理大臣杯争奪日本車椅子バスケットボール選手権大会	優勝
			H19.6	ジュニア選抜車椅子バスケットボール選手権大会 個人 MVP 獲得	優勝
			H19.5	北京パラリンピック アジアオセアニア予選会（本戦出場権獲得）	3位

【ボランティア・社会活動部門】

奨励賞

部門名	サークル名・ 個人名	学年	功 績		
大学（千葉）	BBS		H17-18	平成19年度千葉日報社より「社会福祉賞」を受賞。昭和51年創部以来、非行・不登校・引きこもり等の悩みを抱える少年達の良き理解者として彼らが自然な友達関係を築けるよう活動。他に、少年院・養護施設への訪問・学習ボランティア等の交流活動。	

・平成19年度 淑徳大学スポーツ文化奨励賞 受賞者

授与式：平成19年3月6日(木) 13:00～ 10-555 教室

団体

名称	実績	奨励金
認定団体 軟式庭球部(男子)	関東学生ソフトテニス春季・秋季ともに11・10部で全勝優勝し9部に昇格した。4期連続優勝	10万
認定団体 軟式庭球部(女子)	関東学生ソフトテニス春季9部準優勝、8部昇格 関東学生ソフトテニス秋季8部準優勝、7部昇格	10万
準認定団体 パネルシアター	ハワイ浄土宗別院を始め、5海外公演を含めて、国内の保育園、幼稚園、子育て支援センターなど55回の公演を行った。パネルシアターと言えば淑徳大学と内外にその名を知らしめる活動を展開中。	10万
認定団体 バスケット部	千葉県女子バスケットリーグ戦 Bリーグ優勝 Aリーグ昇格	10万

個人

名称	実績	奨励金
空手 A61312 山本 めぐみ	千葉県空手道選手権 準優勝 和道空手道 優勝 国体空手選考会選手	5万
軟式庭球 A61222 石井 智章 A72072 千葉 勝	関東学生ソフトテニス春季・秋季ともに全勝優勝 関東学生ソフトテニス選手権大会 準優勝	5万
車椅子バスケット A41090 野澤 拓哉	内閣総理大臣杯 優勝 ジュニア選手権大会 準優勝 MVP	5万
射撃 A51357 山田 輝美	千葉市民総合体育大会 個人優勝 千葉県民大会 個人2位	5万
ラクロス部 A42028 大曾根 竜	関東学生リーグ戦男子3部 589名の中からベスト10に選出される	5万
ラクロス部 A41007 金子 亜香里 A63080 石川 聡美	関東学生リーグ戦女子4部 578名の中からベスト12に選出される	5万

6 その他

・平成19年度の施設・設備の整備事業

11号館売店跡を改修し、学生サークルが自由に使えるオープンフロアを設けた。

3号館（研究棟）1階部分の空調設備が老朽化したので、リニューアル工事を行なった。